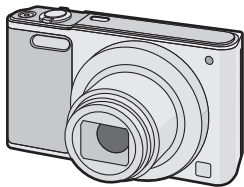


LUMIX

保証書付き



Panasonic[®]

取扱説明書 デジタルカメラ

品番 **DMC-SZ10**

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3～7ページ)を必ずお読みください。
- さらに詳しい操作説明は、「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)に記載されています。Webサイトからダウンロードしてお読みください。(43ページ)
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意

準備

撮る・見る

Wi-Fi

その他

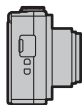
パナソニック株式会社 AVCネットワークス社
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

SQT0550-2
F1214MR2025

© Panasonic Corporation 2015

本機の特長

コンパクトボディに広角24 mm/光学12倍ズームレンズ



広角24 mmから望遠288 mm相当の光学12倍ズームレンズを搭載。
また、iAズームを使うと、画質の劣化を抑えつつ、24倍までズームできます。

- 光学ズーム/iAズーム

画面を見ながら簡単・きれいに自分撮り



モニターを回転させると、自分撮りモードになります。画面を見ながら撮影できるので構図が決めやすく、簡単に自分撮りができます。

- 自分撮りモード

スマートフォンと簡単に接続できるWi-Fi®機能



スマートフォンに「Panasonic Image App」をインストールしておく、Wi-Fi機能でカメラとスマートフォンを簡単に接続できます。スマートフォンを使ってのリモート撮影や写真のシェアで、楽しみ方が広がります。

- リモート撮影/カメラの画像を保存する

多彩な撮影・レタッチ機能



懐かしい雰囲気のある[オールドデイズ]やふんわり柔らかな[ハイキー]など、画面を見て効果を確認しながら、画像を撮影・レタッチできます。

- クリエイティブコントロール/
クリエイティブレタッチ

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください(3～7ページ)

準備

ご使用の前に.....	8
付属品.....	9
各部の名前と働き.....	10
バッテリーを入れて充電する.....	12
内蔵メモリー/カードについて.....	14
電源を入れて時計を設定する.....	15

撮る・見る

写真を撮る.....	16
動画を撮る.....	24
本機を使いこなすコツ.....	25
撮影した画像を見る.....	26
モニターの表示一覧.....	28
メニューを使う.....	30
メニュー一覧.....	31

Wi-Fi

Wi-Fi®機能について.....	33
Wi-Fi機能でできること.....	35
スマートフォン/タブレットと接続する.....	36
パソコンと接続する.....	39
以前と同じ設定で素早く接続する ([履歴から接続]/[お気に入り接続]).....	42




その他

もっと詳しく知りたい(取扱説明書 活用ガイドを読む).....	43
パソコンに画像を保存する.....	44
メッセージ表示.....	45
Q&A 故障かな?と思ったら.....	47
使用上のお願いとお知らせ.....	49
無線LAN使用上のお願い.....	52
仕様.....	53
CLUB Panasonic ご愛用者登録のご案内.....	54
保証とアフターサービス (よくお読みください).....	55
無料修理規定.....	59
保証書.....	裏表紙



安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	危険	「死亡や重傷を負うおそれ が大きい内容」です。
	警告	「死亡や重傷を負うおそれ がある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の 損害が発生するおそれがある 内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
(次は図記号の例です)

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

危険

バッテリーパック*は、誤った使いかたをしない
(※以降は、「バッテリー」と表記)



液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- 指定外のものを使わない
- 分解や加工(はんだづけなど)、加圧、加熱(電子レンジやオープンなどで)しない
- 水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 炎天下(特に真夏の車内)など、高温になるところに放置しない
- 端子部(⊕・⊖)に金属を接触させない
- バッテリーの液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。
- 外装ラベルのはがれたバッテリーは使わない
- バッテリーには安全のため外装ラベルをかぶせています。
これをはがすと、ショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。

バッテリーの充電は、本体または専用充電器を使用する



指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。



警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、バッテリーを外す



- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体やACアダプターが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- ACアダプターを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
- 電源を切り、販売店にご相談ください。

分解、改造をしない



内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止

電源プラグは、正しく扱う



- 感電や、ショートによる火災の原因になります。
- 定期的に乾いた布でふく(ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります)
 - 根元まで確実に差し込む
 - 接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しない

ACアダプターは、誤った使いかたをしない



- 感電や、ショートによる火災の原因になります。
- 加工しない・傷つけない
 - 熱器具に近づけない
 - 傷んだら使わない
 - 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
 - たこ足配線や定格外(交流100V~240V以外)で使わない
 - めれた手で抜き差ししない

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない



- ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。
- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
 - 特にお子様にはご注意ください。

警告

乗り物の運転中に使わない



事故の誘発につながります。

- 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する

運転者などに向けてフラッシュを発光しない



事故の誘発につながります。

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない



本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど*の原因になります。長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

※ 血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

メモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かない



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。

可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない



火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わない

雷が鳴ったら、触れない



感電の原因になります。

- 本体やACアダプターには、金属部があります。

接触禁止



航空機内では電源を切る*



運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

※ やむをえずこのような環境でカメラ本体を使用するときは、無線LAN機能を使用しないでください。ただし、航空機の離着陸時など、カメラ本体の使用が禁止されている場合もありますので注意してください。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので、電源を切る



本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは電源を切る



本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医療用電気機器のある場所では電源を切る



本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から22 cm以上離す



本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

注意

フラッシュ発光部およびAF補助光は、至近距離で直接見ない



誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。

フラッシュを人の目に近づけて発光しない



視力障害などの原因になることがあります。

- 乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。

フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない



やけどの原因になることがあります。
発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。

- 発光直後は、しばらく触らないでください。

次のような場所に放置しない



火災や感電の原因になることがあります。

- 異常に温度が高くなる場所(特に真夏の車内やボンネットの上など)
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ

次のときは、電源プラグを抜く・バッテリーを取り出す



通電状態、またはバッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない



集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

ご使用の前に

■ 本機の取り扱いについて

本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。

- 下記のような状態で使用すると、レンズやモニター、外装ケースが破壊される可能性があります。また誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。
 - 本機を落とす、またはぶつける
 - 本機をズボンのポケットに入れたまま座る、またはいっぱいになったかばんなどに無理に入れる
 - 本機に取り付けたストラップに、アクセサリーなどをぶら下げる
 - レンズ部やモニターを強く押さえつける

殺虫剤や揮発性のものを本機にかけないでください。

本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。

ほこり・水・砂などの多い場所でのご使用を避けてください。

- 下記のような場所で使用すると、レンズやボタンの隙間から液体や砂、異物などが入ります。故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特にお気をつけください。
 - 砂やほこりの多いところ
 - 雨の日や浜辺など水がかかるところ

■ 露付きについて(レンズが曇るとき)・・・

- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズ汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
- 露付きが起こった場合、電源を切り、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。

■ 事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。





■ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

付属品



付属品をご確認ください。
記載の品番は2015年1月現在のもので
す。変更されることがあります。

<input type="checkbox"/>		バッテリーパック DMW-BCL7 (本文中では バッテリー と表記します) ●充電してからお使いください。
<input type="checkbox"/>		ACアダプター VSK0771 [本文中では ACアダプター(付属) と表記 します] ●充電、撮影および再生に使用できます。
<input type="checkbox"/>		ハンドストラップ VFC4737-A
<input type="checkbox"/>		USB接続ケーブル K1HY08YY0037

- カードは別売です。カードを挿入していない場合は、**内蔵メモリー**で画像の記録や再生ができます。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理を
してください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適
切に保管してください。

■別売品のご紹介

バッテリーパック	DMW-BCL7
バッテリーチャージャー *1	DMW-BTC11
(充電時間: 約90分)	
ACアダプター *2	DMW-AC9
(充電時間: 約170分)	
ソフトケース	DMW-CFT1

USB接続ケーブル	DMW-USBC1
AVケーブル	DMW-AVC1

※1 海外用変換プラグ(Cタイプ)付き(P13)

※2 ACアダプター(別売:DMW-AC9)を使うと、本機に
バッテリーを入れなくても撮影や再生ができます。

付属品や別売品は販売店で買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」
でお買い求めいただけるものもあります。

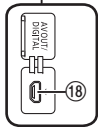
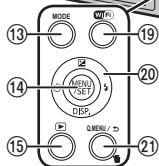
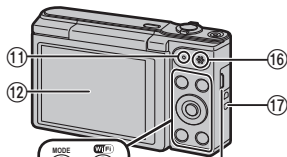
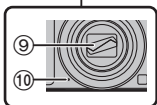
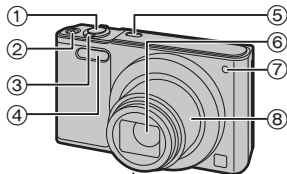
詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。

<http://jp.store.panasonic.com/>

パナソニックグループのショッピングサイト

 **Panasonic Store**

各部の名前と働き



① シャッターボタン(P18)

② 動画ボタン(P24)

③ ズームレバー(P21)

④ フラッシュ発光部

⑤ 電源ボタン(P15)

⑥ レンズ部(P8)

⑦ セルフタイマーランプ

AF補助光ランプ

⑧ レンズ鏡筒

⑨ レンズバリア

⑩ マイク

マイクを指で塞がないようお気をつけください。

⑪ 充電ランプ(P13)

Wi-Fi接続ランプ(P34)

⑫ モニター(P28, 29)

保護フィルムをはがしてお使いください。

モード

⑬ [MODE] ボタン(P17)

メニュー/セット

⑭ [MENU/SET] ボタン(P15, 17)

メニューを表示したり、設定を変更したりするときに押します。

⑮ [▶] (再生) ボタン(P26)

⑯ スピーカー

スピーカーを指で塞がないようお気をつけください。音が聞こえにくくなります。

⑰ ストラップ取り付け部(P16)

アウト デジタル

⑱ [AV OUT/DIGITAL] 端子
(P13, 44)

バッテリーを充電するときにも使用する端子です。

ワイファイ

⑲ [Wi-Fi] ボタン(P34, 36, 37, 39, 42)

⑳ カーソルボタン(P15, 21)

本書では、カーソルボタンの上下左右を押す操作を▲/▼/◀/▶で説明しています。メニュー操作時は、それぞれ上下左右方向に項目の選択などができます。

▲(上)[Z] ▼(下)[DISP.]

◀(左)[C] ▶(右)[F]

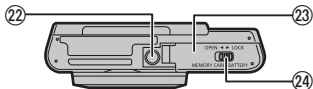
ディスプレイ

クイックメニュー

㉑ [Q.MENU] ボタン(P30)

[消去] ボタン(P26)

[戻る] ボタン(P30)

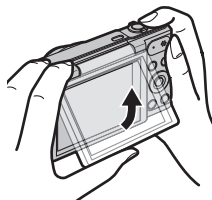


- ② 三脚取り付け部
ねじの長さが5.5 mm以上の三脚を取り付けると、本機を三脚にしっかり固定できない場合や、本機を傷つける場合があります。
三脚の種類によっては適切に取り付けできない場合があります。
- ③ カード/バッテリー扉(P12、14)
- ④ 開閉レバー(P12、14)

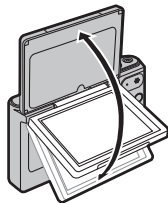
■ モニターの角度を調整する

- 1 モニター下部を軽く押し上げて開く
- 2 モニターの角度を調整する

1



2



- モニターに指などを挟まないようお気をつけください。
- モニターを回転させるときは、無理な力を加えたり、カメラを落とさないようお気をつけください。傷や故障の原因になります。
- 本機を使用しないときは、モニターを元の位置に完全に閉じてください。

バッテリーを入れて充電する

本機専用のACアダプター(付属)、USB接続ケーブル(付属)、バッテリーを使用してください。

- 本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。温度が高すぎたり低すぎたりすると、使用時間が短くなります。
- お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。
- 本機にバッテリーを入れた状態で充電してください。

本機の状態	充電
電源オフ	できます
電源オン	できません

- ACアダプター(別売:DMW-AC9)でも、本機にバッテリーを入れて充電できます。
- バッテリーチャージャー(別売:DMW-BTC11)でも充電できます。
- 使用後や充電中、充電直後などはバッテリーが温かくなっています。また使用中は本機も温かくなりますが、異常ではありません。
- バッテリーの外装ラベルをはがしたり、傷つけたりしないでください。

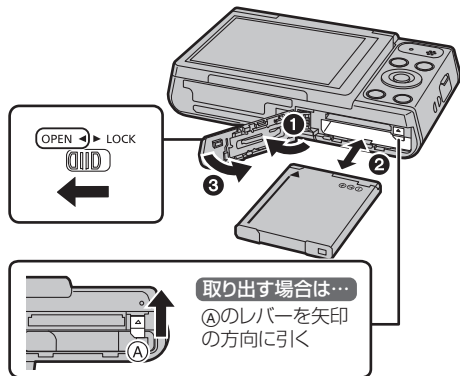
■ 電源の供給(給電)について

本機にバッテリーを入れた状態でACアダプター(付属)を使用すると、USB接続ケーブル(付属)を經由して、電源コンセントから電力を供給(給電)することができます。

- 撮影中はバッテリーを消耗する場合があります。バッテリー残量がなくなると、電源が切れます。
- ACアダプター(付属)を抜き差しする場合は、本機の電源を切ってから行ってください。

バッテリーを入れる

- 1 開閉レバーを[OPEN]側にスライドさせてカード/バッテリー扉を開く
- 2 向きに気をつけて、確実に奥まで挿入し、バッテリーに④のレバーがかかっていることを確認する
- 3 カード/バッテリー扉を閉じて、開閉レバーを[LOCK]側にスライドさせる



充電する

- 充電は周囲の温度が10℃～30℃(バッテリーの温度も同様)のところで行うことをお勧めします。
- 充電完了後は、ACアダプター(付属)を電源コンセントから抜いてください。

本機にバッテリーを入れてください。
電源が切れていることを確認してください。

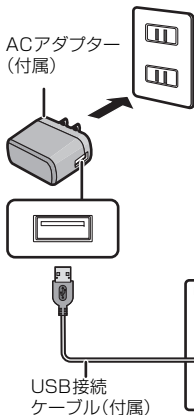
1 ACアダプター(付属)と本機をUSB接続ケーブル(付属)でつなぐ

- 付属のACアダプターまたは、当社製ACアダプター(別売:DMW-AC9)以外は使わないでください。故障の原因になります。
- ACアダプター(付属)とUSB接続ケーブル(付属)は本機専用です。他の機器に使用しないでください。故障の原因になります。

2 ACアダプター(付属)を電源コンセントに差し込む

- 電源の入っているパソコンと本機をUSB接続ケーブル(付属)でつないでも、バッテリーを充電することができます。
- 充電中にパソコンが休止状態になると、充電が中止されることがあります。
- 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合は、ノートパソコンの電池が消耗していきます。そのまま長時間放置しないでください。
- 必ずパソコンのUSB端子に接続してください。モニターやキーボード、プリンターのUSB端子やUSBハブには接続しないでください。
- 満充電後は、USB接続ケーブル(付属)をつなぎ直すと、しばらくの間充電ランプが点灯します。

ACアダプター
(付属)



充電ランプ

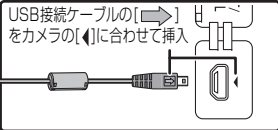
赤色点灯: 充電中

消灯: 充電終了

赤色点滅: 充電エラー(P47)
(バッテリーを使い切ってから充電する場合、約170分が満充電の目安です)

- 点灯まで数秒かかる場合があります。

USB接続ケーブルの[▶]をカメラの[◀]に合わせて挿入



■ 海外旅行先で使う

- ACアダプター(付属)は、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での使用は問題ありません。
- 電源電圧(100V～240V)、電源周波数(50Hz、60Hz)でご使用いただけます。
 - 国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。変換プラグは旅行会社や販売店にご相談のうえ、お求めください。
 - 市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがありますので、使用しないでください。

内蔵メモリー/カードについて

本機では以下のように動作します。

カードを挿入していない場合	内蔵メモリーで記録・再生
カードを挿入している場合	カードで記録・再生

■ 内蔵メモリー

- 記録した画像はカードにコピーすることができます。
- 容量:約80 MB
- カードよりアクセス時間が長い場合があります。

■ カード

本機ではSD規格に準拠した以下のカードが使用できます。(本書では、これらをカードと記載しています)

- SDメモリーカード(8 MB~2 GB)/miniSDカード*/microSDカード*
- SDHCメモリーカード(4 GB~32 GB)/microSDHCカード*
- SDXCメモリーカード(48 GB、64 GB)

※ 本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。

- 上記の当社製カードで動作確認済みです。
- SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードは、それぞれの対応機器でのみ使用できます。
- 動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class6」以上のカードを使用してください。
SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面でご確認ください。
(例)

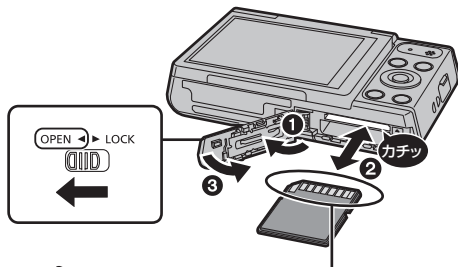
CLASS 6

6

- 最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>

■ カードを入れる

- 1 開閉レバーを[OPEN]側にスライドさせてカード/バッテリー扉を開く
- 2 向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで確実に奥まで入れる
- 3 カード/バッテリー扉を閉じて、開閉レバーを[LOCK]側にスライドさせる



接続端子部

端子部には触れないでください。

取り出す場合は…

「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜く

電源を入れて時計を設定する

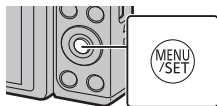
お買い上げ時は、時計設定されていません。

- AC アダプター(付属)との接続は解除しておいてください。

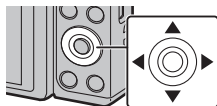
1 電源ボタンを押す



2 [MENU/SET] ボタンを押す

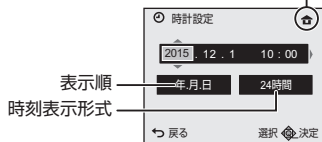


3 ◀/▶ ボタンで合わせたい項目(年・月・日・時・分・表示順・時刻表示形式)を選び、▲/▼ ボタンで設定する



🏠 : ホームの時間

✈ : 旅行先の時間



4 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

5 [MENU/SET] ボタンを押す

■ 時計設定を変更する

1 [MENU/SET] ボタンを押してメニュー画面を表示する

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで[セットアップ]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲/▼ ボタンで[時計設定]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 時計設定画面が表示されます。

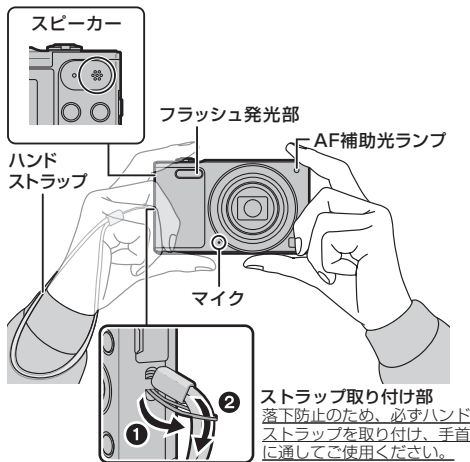
- 時計設定はバッテリーを取り出しても、内蔵電池を使って約7日間記憶されます。(内蔵電池を充電するには、満充電されたバッテリーを本機に約2時間入れてください)

準備

写真を撮る

本機の構え方

両手で本機を軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える



- ストラップを取り付けたまま、本機を振り回したり、無理に引っ張ったりしないでください。ストラップのひもが切れるおそれがあります。
- シャッターボタンを押す瞬間に、本機が動かないようにお気をつけください。
- フラッシュ発光部やAF補助光ランプ、マイク、スピーカー、レンズ部などに指がかからないようにしてください。
- セルフタイマー撮影時やリモート撮影時など、カメラを構えずにズームを使うときは、レンズ鏡筒の伸び縮みで本機が傾くおそれがあります。三脚を使用するなどして本機を固定することをお勧めします。

■ 手ブレを防ぐために

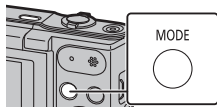
手ブレ警告表示[「@」]が表示されたときは、以下のことをお試しください。

- セルフタイマーを[2秒]に設定する
- [手ブレ補正]を[ON]にする
- [ISO感度]を高くする
- 三脚を使う
- 特に以下の場合にはシャッタースピードが遅くなって撮影されますので、シャッターを切ったあと、画像が表示されるまで本機を動かさしないでください。
 - 赤目軽減スローシンクロ
 - シーンモードの[夜景&人物]/[夜景]/[星空]

撮影モードを選ぶ

被写体や表現方法に合わせて、撮影モードを切り換えて撮影することができます。

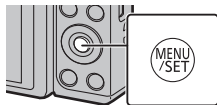
- 1 [MODE] ボタンを押す



- 2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで撮影モードを選ぶ



- 3 [MENU/SET] ボタンを押す



■ 撮影モードについて

iA インテリジェントオートモード
カメラにおまかせで撮影します。
カメラアイコン 通常撮影モード
お好みの設定で撮影します。
サイクロップスアイコン クリエイティブコントロールモード
画像効果を確認しながら撮影します。 [オールドデイズ]や[ハイキー]、[ダイナミックモノクローム]など、15種類の画像効果を選ぶことができます。
パノラマアイコン パノラマモード
パノラマの写真を撮影します。 [オールドデイズ]や[ハイキー]、[ダイナミックモノクローム]など、13種類の画像効果を加えて撮影することができます。
SCN シーンモード
撮影シーンに合わせて撮影します。 [人物]や[風景]、[星空]など、15種類のシーンを選ぶことができます。

写真を撮る (続き)

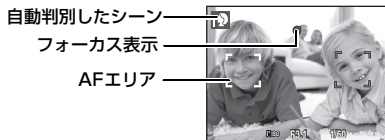
カメラにおまかせて撮る(インテリジェントオートモード)

カメラにおまかせて気軽に撮りたいときや初心者にお勧めです。

1 [インテリジェントオート]を選ぶ(P17)

2 シャッターボタンを半押し(軽く押す)してピントを合わせる

- ピントが合うと、フォーカス表示(緑)が点灯します。



3 シャッターボタンを全押し(さらに押し込む)して撮影する



■自動シーン判別

カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。

- 動画撮影時は[**iA**]で撮影されます。自動シーン判別は動きません。

※1 フラッシュを[**iA**]に設定したときのみ表示されます。

- インテリジェントオートモードで設定できるメニュー
設定できるメニューは以下のとおりです。

メニュー	項目
撮影	[記録画素数]*2/[連写]*2/[自分撮り]
動画	[画質設定]
セットアップ	[取扱説明書のWebサイト]/ [時計設定]/[ワールドタイム]/ [機内モード]/[操作音]/[言語設定] ●上記以外の項目は表示されません。上記以外の項目は、他の撮影モードで設定することができます。
Wi-Fi	[新規に接続]/[履歴から接続]/ [お気に入り接続]/[Wi-Fi設定]

※2 他の撮影モードと設定できる内容が異なります。

- アクセス中(画像の書き込み、読み出しや消去、フォーマット中など)は、電源を切ったり、バッテリーやカード、ACアダプターを取り外さないでください。
- 内蔵メモリーやカードに記録されたデータは電磁波、静電気、本機やカードの故障などにより壊れたり消失することがあります。大切なデータはパソコンなどに保存することをお勧めします。

自分撮りをする(自分撮りモード)

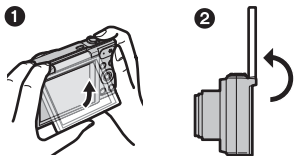
モニターを回転させると、自分撮りモードになります。

- 撮影メニューの[自分撮り]が[OFF]に設定されていると、モニターを回転させても自分撮りモードにはなりません。(お買い上げ時は[ON]に設定されています)

自分撮りモードでは…

- 画面を見ながら撮影するので構図が決めやすくなります。
- 美肌効果をかけて、人物の顔を明るく、肌色を滑らかにできます。
- 撮影枚数を増やして、ポーズや表情を変えた写真を一度に撮影できます。
- その他、自分撮りモードで設定する撮影設定(P20)以外は、各撮影モードの設定に従います。

1 モニターを図のように回転させる



- モニターを回転させると、モニターに映る画像が反転(鏡像)します。

2 [MENU/SET] ボタンを押して、美肌効果や撮影枚数などを設定する (P20)



- 画面を見ながら本機背面のボタンを操作します。操作時は、誤操作やカメラの落下にお気をつけください。
- ▲/▼ ボタンで設定を選び、◀/▶ ボタンで設定内容を選んで[MENU/SET] ボタンを押してください。

3 モニターを見ながらポーズを決める

- 顔認識機能により、顔に合わせてAFエリアが表示されます。([オートフォーカスモード]を[顔]に設定できない撮影モードの場合は、各撮影モードの設定に従います)

4 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する



















- 撮影時はレンズを見てください。
- カウントダウンが開始され、カウントが終わると撮影されます。撮影枚数を複数枚にしたときは、設定した枚数まで撮影が続きます。

写真を撮る (続き)

■ 自分撮りモードでの撮影設定について

手順2で[MENU/SET]ボタンを押すと、以下の設定が変更できます。

(撮影モードによって選択できない機能や設定があります)

設定	設定内容
 (美肌効果)	[] (OFF)、[] (弱)、[] (中)、 [] (強)
 (背景ぼかし)	[] (OFF)、[] (パターン1)、 [] (パターン2)、[] (パターン3)
 (フラッシュ)	[] (オート)、[] (iオート)、 [] (赤目軽減オート)、[] (強制発光)、 [] (赤目軽減スローシンクロ)、 [] (発光禁止)
1枚 (撮影枚数)	[1枚] (1枚)、[2枚] (2枚)、[3枚] (3枚)、 [4枚] (4枚)
 (カウントダウン)	[] (OFF)、[] (3)、[] (10)

- 撮影メニューの[自分撮り]で[スリムモード]を設定することもできます。(P23)

- フラッシュやAF補助光の光を直接見ないようにお気をつけください。
- [美肌効果]を設定時は
 - 背景などに肌色に近い色をした箇所があると、その部分も同時に滑らかになります。
 - 明るさが不十分なときは、効果がわかりにくい場合があります。
- [背景ぼかし]を[OFF]以外に設定しているときは、撮影画面が通常より遅れて表示されます。

■ 自分撮りモードでパノラマ写真を撮る

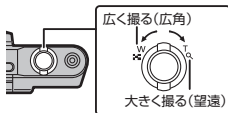
自分撮りモードでパノラマ写真を撮影することもできます。

パノラマモードで撮影することで、友人たちとの集合写真や、背景も広く入れた記念写真など、さまざまな自分撮り写真を撮るを楽しむことができます。

詳しくは「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)をお読みください。

ズームを使う

風景などを広く(広角)撮ったり人や物を大きく(望遠)撮ることができます。



■ズームの種類

光学ズーム:

画質を劣化させずに最大12倍まで拡大します。

EX光学ズーム:

[Z]付きの記録画素数を選ぶと動きます。画像を劣化させずに最大27倍まで拡大します。(光学ズームの倍率を含みます。また記録画素数により変わります)

iAズーム:

画質の劣化を抑えつつ、元のズーム倍率の2倍まで拡大できます。撮影メニューの[iAズーム]を[ON]に設定すると動きます。

デジタルズーム:

画質は拡大するたびに劣化しますが、元のズーム倍率の4倍(iAズーム使用時は2倍)まで拡大できます。撮影メニューの[デジタルズーム]を[ON]に設定すると動きます。

■ピントの合う範囲

ズーム操作時に撮影可能範囲(ピントの合う範囲)が表示されます。

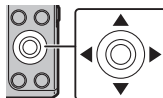
- 撮影可能範囲はズーム位置によって段階的に変化する場合があります。

撮影可能範囲表示

0.03m - ∞
W [] T 1.0X

機能や設定を変更する

▲/▼/◀/▶ ボタンと[MENU/SET] ボタンを使って機能や設定を変更できます。(撮影モードによって選択できない機能や設定があります)



▲ (MENU/SET)	露出補正の設定画面を表示します。
▼ (DISP.)	<p>押すごとにモニターの表示を切り換えます。再生時も同じ操作ができます。(再生時、ガイドラインは表示されません)</p> <p>撮影情報 記録可能枚数と記録可能時間が切り換わります。</p> <p>ガイドライン 構図のバランスを取るときに使います。</p>
◀ (TIMER)	セルフタイマーの設定画面を表示します。 [☺ ₁₀] (10秒)/[☺ ₂] (2秒)/[OFF]
▶ (FLASH)	フラッシュの設定画面を表示します。 [☞A] (オート)/[i☞A] (i オート)/ [☞A☺] (赤目軽減オート)/[☞] (強制発光)/ [☞S☺] (赤目軽減スローシンクロ)/[☺] (発光禁止)
MENU/SET	メニュー画面を表示します。(P30)再生時も同じ操作ができます。

写真を撮る (続き)

撮影に便利なメニュー

■ 記録画素数

本機で撮影した写真は、最大約1600万画素の画像データとなります。小さい用紙へプリントする場合や、Webなどにアップロードする場合は、記録画素数を小さくして撮影することをお勧めします。

記録画素数と記録可能枚数について

保存先	16M(4:3)	3M(4:3)	0.3M(4:3)
内蔵メモリー (約80 MB)	8	80	350
カード(8 GB)	830	7900	34200

■ ISO感度

光に対する感度(ISO感度)を設定できます。数値を高く設定すると、暗い場所でも明るく撮ることができます。

	[100] ←	→ [1600]
撮影場所(お勧め)	明るいとき(屋外)	暗いとき
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	少ない	多い
被写体ブレ	多い	少ない

■ ホワイトバランス

光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。

設定	設定内容
[AWB] (オートホワイトバランス)	自動調整
[☀](晴天)	晴天の屋外で撮影するとき
[☁](曇り)	曇りの屋外で撮影するとき
[☒](日陰)	屋外の晴天下の日陰で撮影するとき
[💡](白熱灯)	白熱灯下で撮影するとき
[📷](セットモード)	[📷SET]で設定した値を使用
[📷SET] (セットモード設定)	手動で設定

■ オートフォーカスモード

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。

設定	設定内容
[👤](顔認識)	人の顔を自動的に検知します。 (最大12人)
[📷](9点)	AFエリアごとに最大9点までピントを合わせることができます。
[📷](1点)	中央のAFエリア内にピントを合わせます。

■ 日付焼き込み

撮影日時入りの写真を撮影できます。

設定	設定内容
[日付]	年月日を焼き込みます。
[日時]	年月日時分を焼き込みます。
[OFF]	—

- [日付焼き込み]を設定して撮影した写真の日付情報は、消すことができません。
- 時計設定を行っていないと、日付情報を焼き込むことができません。

■ 自分撮り

自分撮りモードで撮影するときの美肌効果や撮影枚数などを設定します。

設定	設定内容	
[ON]	モニターを回転させると自分撮りモードになります。	
[OFF]	—	
[設定]	[美肌効果]	人物の顔を明るく、肌色を滑らかにします。 [強]、[中]、[弱]、[OFF]
	[背景ぼかし]	背景をぼかして撮影します。 [パターン1]、[パターン2]、 [パターン3]、[OFF]
	[スリムモード]	人物をスリムに撮影します。 [強]、[弱]、[OFF]
	[撮影枚数]	連続撮影する枚数を設定します。 [1枚]、[2枚]、[3枚]、[4枚]
	[カウントダウン]	カウントダウン後に撮影を行います。 [10カウント]、[3カウント]、 [OFF]

- 撮影メニューの設定方法は30ページをお読みください。

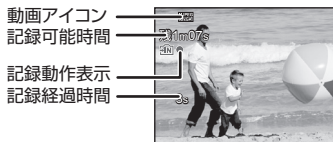
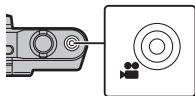
動画を撮る

本機はQuickTime Motion JPEGの記録方式で動画撮影ができます。

1 撮影モードを選ぶ(P17)

- 各撮影モードに適した動画が撮影できます。
(パノラマモードでは動画を撮影できません)

2 動画ボタンを押して撮影を開始する



- 動画の記録中は、記録動作表示(赤)が点滅します。

3 もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する

- 動画撮影中はピントやレンズの絞りを自動的に調整するため、その動作音が記録される場合があります。

■画質設定について

動画メニューの[画質設定]で記録する動画の画質を変更できます。

設定	画質	コマ数	画像横縦比
[HD]	1280×720画素	30コマ/秒	16:9
[VGA]	640×480画素		4:3
[QVGA]	320×240画素		

- 内蔵メモリーに記録するとき、[画質設定]は[QVGA]に固定されます。
- 動画を連続で撮影できるのは、最大2 GBまでです。画面には、2 GBで記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。

■動画撮影中のズームについて

- 動画撮影中はEX光学ズーム、iAズームを使用できません。
- EX光学ズームやiAズームを使っている場合、動画撮影開始時や終了時に画角が大きく変わります。
- 動画撮影中にズーム操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。
- 動画撮影中のズームスピードは通常より遅くなります。
- 動画撮影中にズーム操作を行うと、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。

本機を使いこなすコツ

こんなときは、この撮影モードで

旅行先で、記念写真を他の人に頼んで撮影してもらおうとき

➡ **iA** インテリジェントオートモード

花をアップで撮りたいとき

➡ **iA** インテリジェントオートモード

街頭のイルミネーションをきれいに撮りたいとき

➡ **iA** インテリジェントオートモード
SCN シーンモード(夜景)

星空を撮りたいとき

➡ **SCN** シーンモード(星空)
● 三脚を使って撮影してください。
● セルフタイマーを設定して撮影すると、カメラブレの軽減に効果があります。

屋外で人物を撮影したいとき

➡ **iA** インテリジェントオートモード
SCN シーンモード(人物、美肌)

屋内で人物を撮影したいとき

➡ **iA** インテリジェントオートモード
● フラッシュも併用してください。

こんなときは、このメニュー/機能で

- 風景や建物を水平や垂直に気を付けて撮りたいとき
- 被写体をバランスよく撮りたいとき

➡ ガイドライン表示(▼ボタンで表示)

- 限られたカードの容量で、たくさん撮影したいとき
- EX光学ズームを使って大きく撮影したいとき
- 用途に応じて画像サイズを変更したいとき

➡ [記録画素数](撮影メニュー)

画質の劣化を抑えつつズーム倍率を上げたいとき

➡ [iAズーム](撮影メニュー)

目で見た色と撮影した画像の色が違うとき

➡ [ホワイトバランス](撮影メニュー)

撮影日時を写真に焼き込むとき

➡ [日付焼き込み](撮影メニュー)

- Webサービスに写真を掲載したいとき
- メールに写真を添付したいとき

➡ [リサイズ(縮小)](再生メニュー)

離れた場所からカメラを操作して写真を撮りたいとき

➡ スマートフォン/タブレットでリモート撮影する
(Wi-Fi機能)

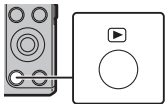
撮った写真をスマートフォン/タブレットやパソコンに送りたいとき

➡ [撮影中に画像を送る]/[カメラ内の画像を送る]
(Wi-Fi機能)

撮影した画像を見る

カードが入っているときはカードの画像を、入っていないときは内蔵メモリーの画像を再生します。

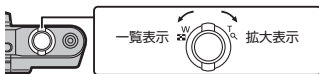
1 [▶] ボタンを押す



2 ◀/▶ ボタンで画像を選ぶ



■ 拡大表示する/一覧表示する



- 拡大表示中は、カーソルボタンで、表示位置を調整できます。(拡大したあと、ズームレバーを[] (W) 側に回すと、倍率が小さくなります)
- ズームレバーを[] (W) 側に回すと、1画面 → 12画面 → 30画面 → カレンダー検索に切り換わります。
- 12画面または30画面で画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押すと、1画面表示されます。

■ 画像を消去する

(1枚消去)

消去する画像を選び、[] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと消去されます。

(複数消去)*

*複数消去で一度に消去できるのは50枚までです。

1 [] ボタンを押す

2 ▲/▼ ボタンで[複数消去]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す(繰り返す)

- 設定した画像に[]が表示されます。もう一度[MENU/SET] ボタンを押すと設定が解除されます。

4 ◀ ボタンで[実行]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと消去されます。

■ フォーマットについて

セットアップメニューの[フォーマット]を使うと内蔵メモリーまたはカードを初期化し、画像を全て消去します。

- 画像は一度消去やフォーマットをすると、元に戻すことができませんので、お気をつけください。

動画を見る

本機で再生できる動画のファイル形式はQuickTime Motion JPEGです。

◀/▶ ボタンで動画アイコン([MJPEG] など)が付いた画像を選び、▲ ボタンを押して再生する

- パノラマ写真も、同様の操作で再生できます。



■ 動画再生中の操作

▲	再生/一時停止
[MENU/SET]	停止
◀	早戻し(2段階)/コマ戻し(一時停止中)
▶	早送り(2段階)/コマ送り(一時停止中)

- 音量はズームレバーで調整できます。

撮影した写真をタッチする (クリエイティブタッチ)

撮影した写真にお好みの効果を加えることができます。

1 ◀/▶ ボタンで写真を選び、▲ ボタンを押す

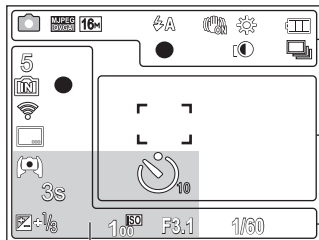
- 再生メニューの[クリエイティブタッチ]を選んでも、操作できます。

2 ▲/▼ ボタンで作例写真から画像効果を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- クリエイティブコントロールモードと同じ画像効果を加えることができます。
- ◀ ボタンを押すと、選択されている画像効果の説明が表示されます。
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
- すでにタッチされた写真はタッチできない場合があります。
- プレビュー表示とタッチ後の画像とでは、効果の度合いが異なる場合があります。

モニター表示一覧

■ 撮影時



月齢/年齢
 現在日時
 ワールドタイム：✈

ズーム表示
 EX光学ズーム表示 iAズーム領域 ズーム倍率(目安)

EZ W [] T 1.0X

光学ズーム領域 デジタルズーム領域

📷 : 撮影モード
 MJPEG : 画質設定
 16M : 記録画素数
 ⚡ : フラッシュ
 (ON) : 手ブレ補正
 手ブレ警告：(📷)

☀ : ホワイトバランス
 クリエイティブ
 コントロール調整表示：🔧

🔋 : バッテリー残量
 ● : フォーカス
 i🌑 : 暗部補正
 📷 : 連写

📷 : AFエリア
 ⌚ : セルフタイマー

5 : 記録可能枚数
 記録可能時間*
 (残XXhXXmXXs)

📷 : モニター輝度
 モニターパワーセーブ：ECO

3s : 記録経過時間*

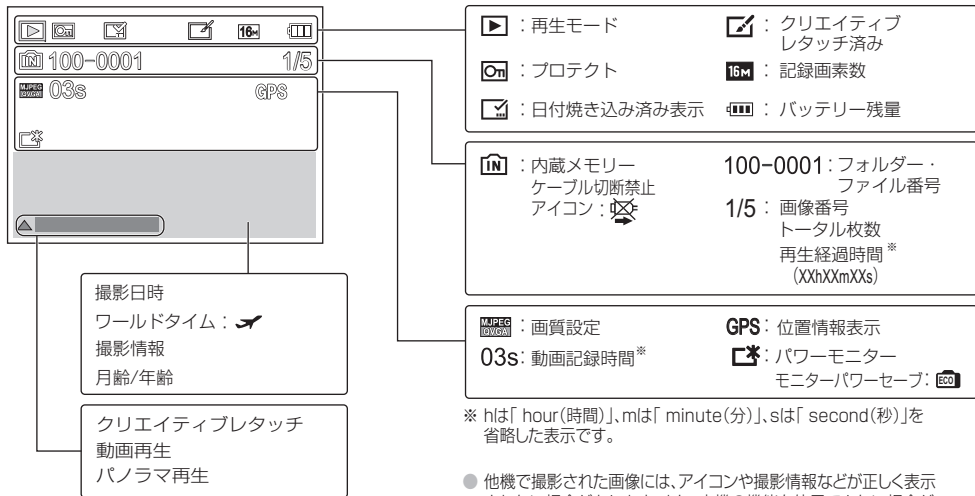
📷+1/3 : 露出補正
 AF補助光：AF*

● : 記録動作
 📶 : Wi-Fi接続状態
 📷 : 日付焼き込み

100^{ISO} : ISO感度
 F3.1 : 絞り値
 1/60 : シャッタースピード

※ hは「hour(時間)」、mは「minute(分)」、sは「second(秒)」を省略した表示です。

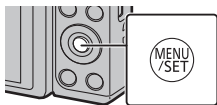
再生時



メニューを使う

メニューを使って、本機の設定や撮影機能の設定、再生機能の操作などが行えます。

1 [MENU/SET] ボタンを押す



2 ▲/▼/◀/▶ ボタンでメニューを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

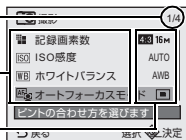
メニュー	内容
撮影 (撮影モードのみ)	色合いや感度、画素数などをお好みで設定できます。
動画 (撮影モードのみ)	画質設定など動画撮影時の設定ができます。
再生 (再生モードのみ)	画像の保護や切り抜きなど撮影した画像に対する設定ができます。
セットアップ	時計の設定や操作音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。
Wi-Fi	Wi-Fiの接続や、Wi-Fi機能を使うために必要な設定ができます。

3 ▲/▼ ボタンでメニューの項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

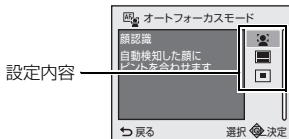
ページ(ズームレバーを回しても切り換わります)

メニュー項目

現在の設定



4 ▲/▼ ボタンを押して設定内容を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



■ メニューを終了する

撮影/再生画面に戻るまで、繰り返し[] ボタンを押す
● 撮影時はシャッターボタンを半押ししてもメニュー画面を終了できません。

■ クイックメニューを使う

クイックメニューを使うと、一部のメニューを簡単に呼び出すことができます。

● モードや表示画面によっては、設定できない項目もあります。

1 撮影状態で、[Q.MENU] ボタンを押す

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで項目と設定内容を選び、[MENU/SET] ボタンを押して終了する



● モニターを回転させて自分撮りモードにしているときは、メニュー画面は表示されません。

メニュー一覽

撮影メニュー([通常撮影]の場合)

メニュー項目	設定
記録画素数	(4:3)16M、(4:3)8M EZ、 (4:3)3M EZ、(4:3)0.3M EZ、 (3:2)14M、(3:2)7M EZ、(3:2)2.5M EZ、 (16:9)12M、(16:9)2M EZ、 (1:1)12M、(1:1)2.5M EZ
ISO 感度	AUTO、iISO、100、200、400、800、 1600
ホワイトバランス	オートホワイトバランス、晴天、曇り、 日陰、白熱灯、セットモード、 セットモード設定
オートフォーカス モード	顔認識、9点、1点
暗部補正	ON、OFF
iAズーム	ON、OFF
デジタルズーム	ON、OFF
連写	連写オン、高速連写、連写オフ
AF 補助光	ON、OFF
デジタル赤目補正	ON、OFF
手ブレ補正	ON、OFF
日付焼き込み	日付、日時、OFF
自分撮り	ON、OFF、設定

動画メニュー

メニュー項目	設定
画質設定	HD、VGA、QVGA
コンティニュアス AF	ON、OFF

再生メニュー

メニュー項目	設定
位置情報記録	位置情報データ付与、位置情報データ消去
クリエイティブ レタッチ	—
リサイズ(縮小)	1枚設定、複数設定
トリミング(切抜き)	—
プロテクト	1枚設定、複数設定、全解除
画像コピー	IN→SD(内蔵メモリーからカード)、 SD→IN(カードから内蔵メモリー)

メニュー一覧 (続き)

セットアップメニュー

メニュー項目	設定
取扱説明書のWebサイト	URL表示、USB接続、QRコード表示
時計設定	—
ワールドタイム	旅行先、ホーム
機内モード	ON、OFF
操作音	小、大、OFF
モニター調整	明るさ、コントラスト・彩度、赤み、青み
モニター輝度	オートパワーモニター、パワーモニター、ハイアングル、OFF
動画記録枠表示	ON、OFF
エコモード	自動電源OFF:2分、5分、10分、OFF モニターパワーセーブ:ON、OFF
オートレビュー	1秒、2秒、ホールド、OFF
露出補正リセット	ON、OFF
設定リセット	撮影設定、セットアップ設定
Wi-Fi設定リセット	—
テレビ接続設定	ビデオ出力方式:NTSC、PAL テレビ画面タイプ:16:9、4:3
バージョン表示	—
フォーマット	—
言語設定	日本語、ENGLISH(英語)、 簡体中文(簡体字中国語)、 繁体中文(繁体字中国語)、 한국어(韓国語)

Wi-Fiメニュー

メニュー項目	設定
新規に接続	スマートフォンとつないで使う、 撮影中に画像を送る、 カメラ内の画像を送る
履歴から接続	—
お気に入り接続	—
Wi-Fi設定	
おまかせ画像転送	自動転送、転送先設定、ログ表示
PC接続設定	変更する、標準に戻す
機器名称	—
Wi-Fiパスワード	設定、解除
ネットワークアドレス表示	—
認証情報	—

Wi-Fi®機能について

■ 本機は無線LAN機器としてお使いください

無線LAN機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用する場合は、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を十分に行ってください。無線LAN機器としての用途以外で使用して損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いかねます。

■ Wi-Fi機能は日本での利用を前提としています

本機のWi-Fi機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規制等に違反するおそれがあり、当社は一切の責任を負いかねます。

■ 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります

電波によるデータの送受信は、第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。情報セキュリティのためにも無線アクセスポイントで暗号化を設定することを強くお勧めします。

■ 磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください

- 電子レンジ付近など磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。電波が届かないことがあります。
- 2.4 GHz帯の電波を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器の近くで使用すると、両方の処理速度が低下することがあります。

■ 利用権限のない無線ネットワークに接続しないでください

本機は、無線LAN機能を使用するときは無線ネットワーク環境の自動検索を行います。その際、利用する権限のない無線ネットワーク (SSID*) が表示されることがありますが、不正アクセスと見なされるおそれがありますので、接続しないでください。

* SSIDとは、無線LANで特定のネットワークを識別するための名前のことです。このSSIDが双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

■ 国内線の航空機内では、Wi-Fiの使用が禁止されています

本機からの電磁波などが計器類に影響を及ぼすことがありますので、飛行機の機内や病院などに本機を持ち込む際は[機内モード]を[ON]に設定のうえ、本機の電源を切ってください。

■ ご使用前に

- あらかじめ時計設定をしておいてください。(P15)
- 本機でWi-Fi機能を使用するには、無線アクセスポイントまたは接続先の機器に無線LAN機能が必要です。無線アクセスポイントは、IEEE802.11b、IEEE802.11gまたはIEEE802.11n対応のものをご使用ください。
- 本機は公衆無線LAN環境を経由して無線LAN接続することはできません。
- 画像を送信する際は、十分に充電されたバッテリーの使用をお勧めします。バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、他の機器と接続できなかつたり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー]などのメッセージが表示されます)
- AVケーブル(別売)接続時は、Wi-Fi接続できません。[Wi-Fi]ボタンでの操作も無効になります。

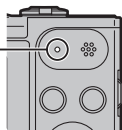
Wi-Fi®機能について (続き)

■ Wi-Fi接続ランプの表示について

Wi-Fi接続ランプ

青色点灯: Wi-Fi接続の待機中

青色点滅: Wi-Fi接続の送受信中



■ [Wi-Fi] ボタンについて

Wi-Fi接続前に [Wi-Fi] ボタンを長めに押す
(スマートフォン/タブレットと接続時)



- スマートフォン/タブレットを本機に直接接続するために必要な情報 (QRコード、SSID、パスワード) が表示されます。(P36、37)



[Wi-Fi] ボタンを押す

- Wi-Fi接続前、または接続後に [Wi-Fi] ボタンを押すと、以下の項目を選択できます。

Wi-Fi接続前に [Wi-Fi] ボタンを押す	Wi-Fi接続中に [Wi-Fi] ボタンを押す
[新規に接続] (P39)	[接続を終わる]
[履歴から接続]	[接続先を変える]
[お気に入り接続]	[画像の送信設定を変える]
[Wi-Fi設定]	[今の接続先をお気に入りに入れる]
	[ネットワークアドレス表示]

- 通信中はカードやバッテリーを抜き差ししたり、通信可能エリア外に移動したりしないでください。
- 通信中にモニターの表示が一瞬乱れることがあります。が、送信される画像に影響はありません。

Wi-Fi 機能でできること

スマートフォン/タブレットとつないで使う



スマートフォン
でリモート撮影
する



カメラの画像を
再生する/
カメラの画像を
保存する



取得した位置情
報をカメラに送
信する

- 以降、特にスマートフォンとタブレットを区別しないかぎり、本書では「スマートフォン」と記載します。

お使いのスマートフォン/タブレットに専用のアプリケーション
「Panasonic Image App*」をインストールしてください

● 対応OS

- Android™向けアプリ: Android 2.3.3以上
(Google Play™ストアから「Panasonic Image App」または「LUMIX」を検索してインストールしてください)
 - iOS向けアプリ: iOS 6.0以上(ただしiPhone 3GSには対応していません)
(App StoreSMから「Panasonic Image App」または「LUMIX」を検索してインストールしてください)
 - 最新のバージョンをお使いください。
 - 対応OSは2015年1月現在のもので、対応OSは変更する場合があります。
 - 操作方法などについて、詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。
 - ご使用になるOSにより、画面が異なる場合があります。
 - 以降の画面・手順は本機の発売時でのバージョンになります。バージョンアップにより、画面・手順が変更される場合があります。
 - お使いのスマートフォン/タブレットによっては、正しく動作しない場合があります。「Image App」の最新情報については、下記サポートサイトをご覧ください。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>
- ※ 本書では「Image App」と表記します

パソコンに画像を送る



撮るたびに画像を送る



画像を選んで送る

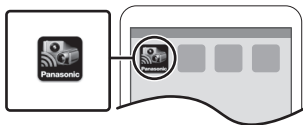
スマートフォン/タブレットと接続する

QRコードを使って接続する [iOS 機器 (iPhone、iPod touch、iPad) をお使いの場合]

1 [Wi-Fi] ボタンを長めに押す



2 スマートフォンで「Image App」を起動する



3 [QRコード] を選び、[OK] を選ぶ

4 本機の画面に表示されている
QRコードを「Image App」で
読み取る



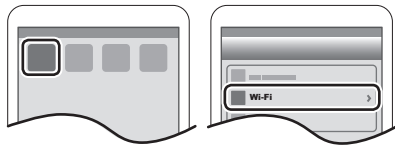
QRコード

5 プロファイルをインストールする

- ブラウザにメッセージが表示されます。
- スマートフォンのロック解除のパスコードを設定している場合は、パスコードの入力が必要です。

6 ホームボタンを押してブラウザを終了する

7 スマートフォンの設定メニューでWi-Fi機能をONにする



8 本機に表示されたSSIDを選ぶ

9 ホームに戻り、「Image App」を起動する

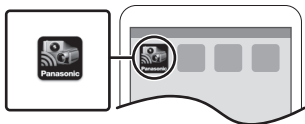
- 手順2～6は2回目以降は不要です。

QRコードを使って接続する (Android 機器をお使いの場合)

1 [Wi-Fi] ボタンを長めに押す



2 スマートフォンで「Image App」を起動する



3 [QRコード]を選ぶ

4 本機の画面に表示されている QRコードを「Image App」で読み取る



QRコード

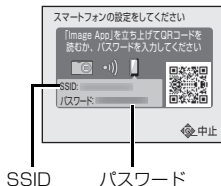
パスワードを入力して接続する

1 [Wi-Fi] ボタンを長めに押す



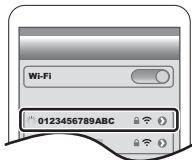
2 スマートフォンの設定メニューでWi-Fi機能をONにする

3 本機に表示されたSSIDを選ぶ



4 本機に表示されたパスワードを入力する


- Android 機器をお使いの場合、パスワードを表示のボックスにチェックを入れておくと、入力中のパスワードを確認しながら入力できます。



5 スマートフォンで「Image App」を起動する

スマートフォン/タブレットと接続する (続き)


本機をスマートフォン/タブレットで操作する(リモート撮影)

- 1 スマートフォンと接続する(P36,37)
- 2 「Image App」の画面で [] を選ぶ



- 撮影した画像はカメラに保存されます。
- 動画は撮影できません。

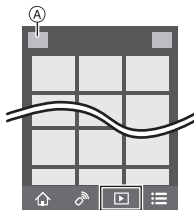
本機に保存されている画像をスマートフォン/タブレットで再生する

- 1 スマートフォンと接続する(P36,37)
- 2 「Image App」の画面で [] を選ぶ


- 画面左上のアイコン(A)で、表示する画像を切り換えられます。カメラの画像を表示するには[LUMIX]を選んでください。

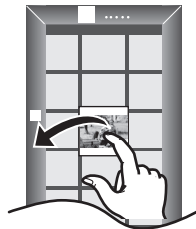
- 3 画像をタッチして拡大する

- 動画は再生できません。




本機に保存されている画像をスマートフォン/タブレットに保存する

- 1 スマートフォンと接続する(P36,37)
- 2 「Image App」の画面で [] を選ぶ
- 3 画像を長めにタッチし、ドラッグして保存する
 - 動画は保存できません。



スマートフォン/タブレットで取得した位置情報を本機に送信する

- 1 スマートフォンと接続する(P36,37)
- 2 「Image App」の画面で [] を選ぶ
- 3 [ジオタギング] を選ぶ
- 4 アイコンを選ぶ

- ✂ : 位置情報の記録を開始/停止します。
- ♀ : 位置情報の送信を行います。

- スマートフォンから受信した位置情報は、本機で再生メニュー(P31)から[位置情報記録]を選び、撮影した画像に書き込むことができます。詳しくは「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)をお読みください。

パソコンと接続する

画像を受信するフォルダーを作成する

パソコンに画像を送信するには、あらかじめパソコンで受信するフォルダーの設定をしておく必要があります。

- パソコンのユーザーアカウント[アカウント名(254文字以内)とパスワード(32文字以内)]は半角英数字で設定してください。半角英数字以外でユーザーアカウントを設定していると、受信するフォルダーを作成できない場合があります。
- 受信するフォルダー名は半角英数字20文字以内で設定してください。

(Windowsをお使いの場合)

対応OS: Windows Vista®/Windows® 7/Windows® 8/
Windows® 8.1

例) Windows 7

- 1 受信するフォルダーを選び、右クリックする
- 2 「プロパティ」を選び、フォルダーに共有の設定をする

- 詳しい設定方法は、お使いのパソコンの説明書やOSのヘルプをご参照ください。

(Macをお使いの場合)

対応OS: OS X v10.5～v10.9

例) OS X v10.8

- 1 受信するフォルダーを選び、以下の順にクリックする
「ファイル」→「情報を見る」
 - 2 フォルダーに共有の設定をする
- 詳しい設定方法は、お使いのパソコンの説明書やOSのヘルプをご参照ください。

パソコンに画像を送る

無線アクセスポイントを経由してパソコンと接続し、本機で撮影した写真や動画を送ることができます。

接続方法の一例を紹介しています。その他の接続方法について詳しくは「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)をお読みください。

準備

- 接続先のパソコンのワークグループを標準設定から変更している場合、[PC接続設定]で本機の設定も変更する必要があります。

1 [Wi-Fi] ボタンを押す



- ### 2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで [新規に接続]を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す



パソコンと接続する (続き)

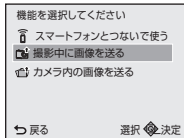
3 ▲/▼ ボタンで送信方法を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 受信するフォルダーを設定しておく必要があります。(P39)

撮るたびに画像を送る ([撮影中に画像を送る])

写真を撮るたびに、パソコンに自動で画像を送ることができます。

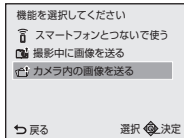
送信できる画像:
JPEG



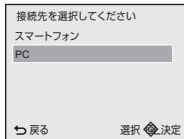
画像を選んで送る ([カメラ内の画像を送る])

撮影後に画像を選んでパソコンに送ることができます。

送信できる画像:
JPEG/Motion JPEG



4 ▲/▼ ボタンで[PC]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



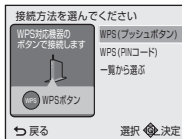
5 接続方法を選ぶ

[WPS(プッシュボタン)]で接続する例

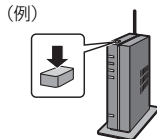
① [MENU/SET] ボタンを押す



② [WPS(プッシュボタン)]を 選ぶ



③ 無線アクセスポイントがWPS モードになるまで、無線アクセ スポイントのWPSボタンを 押す



6 (目的に応じて)カメラを操作する

[撮影中に画像を送る]

- 1 接続したいパソコンおよび送信先のフォルダーを選ぶ
- 2 カメラで撮影する



[カメラ内の画像を送る]

- 1 接続したいパソコンおよび送信先のフォルダーを選ぶ
- 2 [1枚設定]または[複数設定]を選び、送信したい画像を選ぶ



- 接続したいパソコンが表示されていない場合は、[マニュアル入力]を選び、パソコンのコンピューター名(Apple社製Macパソコンの場合はNetBIOS名)を入力してください。

- 設定したフォルダー内に送信日ごとのフォルダーが作成され、その中に画像が保存されます。
- ユーザーアカウントとパスワードを入力する画面が表示された場合は、お使いのパソコンで設定したものを入力してください。
- コンピューター名(Apple社製Macパソコンの場合はNetBIOS名)にスペース(空白文字)などが入っていると、正しく認識できないことがあります。接続できない場合は、15文字以内の英字と数字のみを組み合わせたコンピューター名(Apple社製Macパソコンの場合はNetBIOS名)に変更することをお勧めします。

以前と同じ設定で素早く接続する([履歴から接続]/[お気に入り接続])

Wi-Fi機能を使うと履歴が保存されます。

履歴はお気に入りに登録することができます。

履歴やお気に入りから接続すると、簡単に以前と同じ設定で接続することができます。

1 [Wi-Fi] ボタンを押す



2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで[履歴から接続]または[お気に入り接続]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



項目	内容
[履歴から接続]	以前と同じ設定で接続します。
[お気に入り接続]	お気に入りに登録された設定で接続します。

3 ▲/▼ ボタンで接続したい項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- スマートフォンが本機以外の無線アクセスポイントと接続されているときは、本機と接続できません。

スマートフォン側のWi-Fi設定で、接続するアクセスポイントを本機に変更してください。または、[新規に接続]で接続し直してください。(P36、37)



■ 履歴をお気に入りに登録する

1 [Wi-Fi] ボタンを押す

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで[履歴から接続]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲/▼ ボタンでお気に入りに登録したい項目を選び、▶ ボタンを押す

4 登録名を入力する

- 入力前、登録名は空欄で表示されます。
- 入力できる文字数は最大30文字です。

もっと詳しく知りたい(取扱説明書 活用ガイドを読む)

さらに詳しい使い方を知りたいときは、「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)をお読みください。

「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)を Webサイトからダウンロードする

「取扱説明書 活用ガイド」はWebサイトからダウンロードできます。

<http://panasonic.jp/support/dsc/oi/index.html?model=DMC-SZ10&dest=JP>



■ URLやQRコードはセットアップメニューの「取扱説明書のWebサイト」でもご確認いただけます。

- 1 [MENU/SET] ボタンを押す
- 2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで[セットアップ]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 3 ▲/▼ ボタンで[取扱説明書のWebサイト]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 4 ▲/▼ ボタンで設定したい項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

項目	内容
[URL表示]	本機のモニターにWebサイトのURLを表示します。
[USB接続]	USB接続ケーブルでパソコンと接続してWebサイトを表示します。パソコンに表示される「OIBOOK.HTM」をクリックしてください。
[QRコード表示]	本機のモニターにQRコードを表示します。

- 「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)を閲覧・印刷するためには、Adobe Readerが必要です。Adobe Readerは、下記のサイトからダウンロードできます。(2015年1月現在)

<http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep2.html>

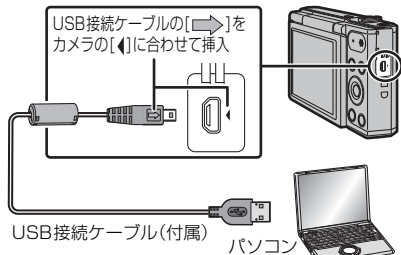
パソコンに画像を保存する

本機はマストレージデバイス(大容量記憶装置)を認識できるパソコンに接続することができます。

- Windowsの場合: Windows Vista/Windows 7/
Windows 8/Windows 8.1
- Macの場合: OS X v10.5~v10.10

1 USB接続ケーブル(付属)で本機とパソコンをつなぐ

- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります)



2 ▼ ボタンで [PC] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- Windowsの場合: 「コンピューター」にドライブ(「LUMIX」)が表示されます。
- Macの場合: デスクトップ上にドライブ(「LUMIX」)が表示されます。

3 本機のファイルやフォルダーをパソコンにドラッグアンドドロップする

- 画像の取り込みが終わったら、USB接続ケーブルを安全に取り外してください。

■ パソコンでの再生・編集について

本製品には画像を再生または編集するためのソフトウェアを付属していません。写真の再生や編集、および動画の再生には、以下のソフトウェアをお使いください。

写真用ソフトウェア

- Windows用
Microsoft® Windows フォトビューアー/
Windows フォトギャラリー/
Windows Live® フォトギャラリー(オンラインサービス)
- Mac用
Apple製iPhoto

動画用ソフトウェア

- Motion JPEG形式に対応したソフトウェア

- 上記のソフトウェアについては2015年1月現在の情報です。ソフトウェアの仕様は予告なく変更される場合があります。将来にわたって動作を保証するものではありません。
- お使いのパソコンに搭載されていない場合は、提供元のホームページからダウンロードしてください。
- ソフトウェアのご使用方法については、提供元にお問い合わせください。

メッセージ表示

モニターに表示される、主なメッセージの意味と対処法です。

- 「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)では、より多くのメッセージの例が記載されていますので、併せてご確認ください。

メッセージ	原因・対策
電源を入れ直してください/ システムエラー	レンズが正常に動作しませんでした。 → 電源を入れ直してください。 (それでも表示されるときは、お買い上げの販売店にご相談ください)
内蔵メモリーエラー/ フォーマットしますか?	内蔵メモリーをパソコンでフォーマットした場合などに表示されます。 → パソコンなどに必要なデータを保存してから、本機でフォーマットしてください。
メモリーカードエラー 本機では使えない状態です。 フォーマットしますか?	本機では認識できないフォーマットです。 → パソコンなどに必要なデータを保存してから、本機でフォーマットしてください。
リードエラー/ライトエラー カードを確認してください	データの読み込みに失敗しました。 → カードが確実に入っているか確認してください。 データの書き込みに失敗しました。 → 電源を切ってからカードを抜き、再び入れてから電源を入れてください。 カードが壊れている可能性があります。 → 別のカードを入れてお試しください。
カードの書き込み速度不足のため 記録を終了しました	カードによっては途中で動画撮影が終了する場合があります。 → 推奨のスピードクラスのカード(P14)を使用しても停止した場合は、データの書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマットすることをお勧めします。

メッセージ表示 (続き)

メッセージ	原因・対策
<p>アクセスポイントの接続に失敗しました/ 接続できませんでした/ 送信先が見つかりませんでした</p>	<p>無線アクセスポイントについて、以下をご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> → 本機に設定した無線アクセスポイント情報が間違っています。認証方式・暗号化方式・暗号化キーをご確認ください。 → 無線アクセスポイントの電源が入っていません。 → 本機がサポートしていない無線アクセスポイントの設定です。 <p>.....</p> <p>接続先のネットワーク設定をご確認ください。</p> <p>.....</p> <p>他の機器の電波により、無線アクセスポイントに接続できない場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> → 無線アクセスポイントに接続している他の機器や、2.4 GHzの周波数を使用する機器の使用状況をご確認ください。
<p>通信できませんでした。時間を空けて再度実行してください。/ ネットワークが切断されました。 送信を中止しました。</p>	<p>無線アクセスポイントの電波が弱くなっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> → 無線アクセスポイントの近くで接続してください。 <p>.....</p> <p>サーバーから応答がない、または通信処理時間を超過しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> → しばらくしてから再度実行してください。 <p>.....</p> <p>無線アクセスポイントによっては、一定時間を経過すると自動的に接続が切断される場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> → もう一度接続し直してください。
<p>通信できませんでした</p>	<p>接続先のスマートフォンについて、以下をご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> → スマートフォンが動作していません。 → スマートフォン側のWi-Fi設定で、接続するアクセスポイントを本機に変更してください。 → スマートフォンの保存容量に空きがありません。

Q&A 故障かな?と思ったら

- セットアップメニューの[設定リセット]を行うと症状が改善する場合があります。
- 症状が改善しない場合は「保証とアフターサービス」をお読みください。

Q(質問)	A(回答)
電源が切れない。 操作中に動作しなくなった。	万が一、操作できなくなるなど正常に動作しなくなったときは、バッテリーを一度抜いてから、あらためて挿入し、電源を入れ直してください。 本機は、以下の点にお気を付けのうえ、ご使用いただくことをお勧めします。 <ul style="list-style-type: none">● カードは本機でフォーマットしてから使う。 (カード内の必要なデータは事前にパソコンなどへ保存してください)● 時計設定を行ってから使う。(P15)● ボタン操作などは、ゆっくりと確実に行う。(ボタンを続けて早く押したり、複数のボタンを同時に押ししたりすると、操作できなくなることがあります)● アクセス表示が消えてから、次の撮影や操作を行う。(アクセス表示が表示されているときに操作した場合、記録中の画像は正常に記録されないことがあります)
充電ランプが点滅する。	温度が極端に高い、または低いところで充電しているときの現象です。 → 周囲の温度が 10℃～30℃(バッテリーの温度も同様)のところで USB 接続ケーブル(付属)をつなぎ直し、再度充電をお試しください。
充電できない。	USB 接続ケーブル(付属)を抜き、接続し直してください。 パソコンの給電能力が低い場合は、充電できません。
撮影時やシャッター半押し時に、モニターに赤っぽい縦すじが出たり、モニターの一部または全体が赤っぽくなることがある。	CCD の特徴であり、被写体に明るい部分があると出ます。周辺にムラが発生する場合がありますが、異常ではありません。動画撮影では記録されますが、写真には記録されません。 太陽光などの強い光源が画面付近に入らないように撮影することをお勧めします。
Windows 8 のパソコンと Wi-Fi 接続しようとする、ユーザー名とパスワードが認識されず、接続できない。	Windows 8 など、OS のバージョンによっては 2 種類のユーザーアカウント(ローカルアカウント/Microsoft アカウント)があります。 → 必ずローカルアカウントのユーザー名とパスワードを使用してください。
Wi-Fi 接続でパソコンが認識されない。	お買い上げ時は「WORKGROUP」というワークグループを使用します。ワークグループの名前を変更している場合は、認識されません。 → [Wi-Fi 設定]メニューの[PC 接続設定]の[変更する]で、接続するパソコンのワークグループ名に変更してください。

Q&A 故障かな?と思ったら (続き)

Q(質問)	A(回答)
<p>Wi-Fi 接続できない。 電波が途切れる。 無線アクセスポイントが表示されない。 (無線アクセスポイントについて)</p>	<p>接続したい無線アクセスポイントが使用可能な状態になっているか確認してください。</p> <p>無線アクセスポイントの電波状況によっては、無線アクセスポイントを表示できない、または接続できないことがあります。</p> <ul style="list-style-type: none">→ 本機と無線アクセスポイントを近づけてください。→ 本機と無線アクセスポイントの間の障害物を取り除いてください。→ 本機の向きを変えてください。→ 無線アクセスポイントの置き場所や向きを変えてください。→ [マニュアル入力]を行ってください。 <p>無線アクセスポイントの設定内容によっては、電波が存在していても表示されないことがあります。</p> <ul style="list-style-type: none">→ 無線アクセスポイントの無線チャンネルが自動で設定されない場合は、手動で無線アクセスポイントの無線チャンネルを1~11チャンネルの中から選び、設定してください。→ 無線アクセスポイントのネットワークSSIDが非通知に設定されている場合、検出されない場合があります。ネットワークSSIDを入力して接続してください。 もしくは無線アクセスポイントのネットワークSSIDの非通知設定を解除してください。 <p>無線アクセスポイントにより接続方式やセキュリティーの設定方法が異なります。(無線アクセスポイントの説明書をご確認ください)</p> <p>5 GHz/2.4 GHz切り換え式の無線アクセスポイントが5 GHz帯で他の機器と接続中ではありませんか?</p> <ul style="list-style-type: none">→ 5 GHz/2.4 GHz同時使用できる無線アクセスポイントのご使用をお勧めします。対応していない場合は本機と同時使用できません。

- よくあるお問い合わせについて、抜粋しています。
上記以外の症状については「取扱説明書 活用ガイド」に記載しています。
Webサイトからダウンロードしてお読みください。
(P43)

サポートサイトのご案内

パナソニックのサポートサイトで最新のサポート情報をご確認いただけます。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>



使用上のお願いとお知らせ

- 「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)では、より多くが記載されていますので、併せてご確認ください。

■ お手入れや取り扱いについて

お手入れの際は、バッテリーを取り出し、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、その後、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- レンズバリアを無理に開けないでください。

■ しばらく使わないとき

- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。
- 推奨温度 : 15℃ ~ 25℃
推奨湿度 : 40%RH ~ 60%RH
- バッテリーとカードは必ず本機から取り出してください。(過放電により、充電してもバッテリーが使用できなくなるおそれがあります)
- 長期間保管する場合、1年に1回は充電し、バッテリー残量がなくなってから、本機から取り出して再保管することをお勧めします。
- 押し入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤(シリカゲル)と一緒に入れることをお勧めします。
- ゴムやビニール製品に接触させたまにしないでください。

不要になった電池は、捨て
ないで充電式電池リサイ
クル協力店へご持参くだ
さい。



充電式

リチウムイオン
電池使用

Li-ion 20

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照くだ
さい。

- ホームページ <http://www.jbrc.com>

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

使用上のお願いとお知らせ (続き)

- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

- 付属の USB 接続ケーブルまたは、当社製 USB 接続ケーブル (別売: DMW-USBC1) 以外は使用しないでください。
- 当社製 AV ケーブル (別売: DMW-AVC1) をお使いください。
- ケーブルは延長しないでください。

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック株式会社 (パナソニック) が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) オープンソースソフトウェア

上記(3)に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

詳細は、[MENU/SET] → [セットアップ] → [バージョン表示] → [MENU/SET] で表示されるライセンス条件をご参照ください。

- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft、Windows、Windows VistaおよびWindows Liveは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- iPhoto、Mac、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iPad、iPhone、iPod、iPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用されるApple Inc.の商標または登録商標です。
- App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
- Android および Google Play はGoogle Inc.の商標または登録商標です。
- “Wi-Fi CERTIFIED™”ロゴは、“Wi-Fi Alliance®”の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setup™識別マークは、“Wi-Fi Alliance®”の認証マークです。
- “Wi-Fi®”は“Wi-Fi Alliance®”の登録商標です。
- “Wi-Fi Protected Setup™”、“WPA™”、“WPA2™”は“Wi-Fi Alliance®”の商標です。
- QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。



無線LAN使用上のお願い

■ 使用周波数帯

本機は2.4 GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見方



本機が2.4 GHz周波数帯を使用するDSSSとOFDM変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約40 mであることを意味します。

■ 認証情報の表示方法

本機の認証情報を表示するには、次の順で選択してください。

1 Wi-Fiメニューから[Wi-Fi設定]を選ぶ

2 ▲/▼ボタンで[認証情報]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

■ 無線LAN接続について

本機は公衆無線LAN環境を経由して無線LAN接続することはできません。

無線LAN機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえで、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談してください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

パナソニック LUMIX(ルミックス)ご相談窓口 365日 受付9時~20時

電話 フリーダイヤル  **0120-878-638** パナは ルミックスバチ!

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用
いただけない場合 **06-6907-1187** ■FAX
フリーダイヤル  **0120-878-236**

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源	DC 5 V
消費電力	1.5 W(撮影時) 1.0 W(再生時)

カメラ有効画素数	1600万画素
撮像素子	1/2.33型CCDセンサー 総画素数1660万画素、原色カラーフィルター
レンズ	光学12倍ズーム f=4.3 mm~51.6 mm (35 mmフィルムカメラ換算: 24 mm~288 mm) F3.1(W端時)~F6.3(T端時)
手ブレ補正	光学式
撮影範囲	通常/インテリジェントオート/動画: 3 cm(W端時)/1.5 m(T端時)~∞ シーンモード: 上記撮影範囲と異なる場合あり
シャッターシステム	電子シャッター連動メカニカルシャッター
シャッタースピード	8秒~1/2000秒、 シーンモードの[星空]: 15秒、30秒、60秒
露出	オート(プログラムAE)
測光方式	マルチ測光
モニター	2.7型TFT液晶(4:3)(約46万ドット) (視野率約100%)
マイク	モノラル
スピーカー	モノラル
記録メディア	内蔵メモリー(約80 MB)/SDメモリーカード/ SDHCメモリーカード/SDXCメモリーカード
記録画像ファイル形式 写真 動画	JPEG(DCF準拠、Exif2.3準拠) QuickTime Motion JPEG

インターフェース デジタル アナログビデオ オーディオ	USB 2.0(High Speed) NTSC/PALコンポジット(メニュー切り換え) オーディオライン出力(モノラル)
端子 AV OUT/DIGITAL	専用ジャック(8pin)
寸法	約幅99.0 mm×高さ59.9 mm× 奥行き29.8 mm(突起部除く)
質量	約177 g(カード、バッテリー含む) 約163 g(本体)
推奨使用温度	0℃~40℃
許容相対湿度	10%RH~80%RH
言語切り換え	[日本語]/[ENGLISH](英語)/[简体中文](簡体字中国語)/ [繁體中文](繁体字中国語)/[한국어](韓国語)

ワイヤレス転送部

準拠規格	IEEE 802.11 b/g/n (無線LAN標準プロトコル)
使用周波数範囲 (中心周波数)	2412 MHz~2462 MHz(1~11ch)
暗号化方式	Wi-Fi準拠 WPA™/WPA2™
アクセス方式	インフラストラクチャーモード

専用ACアダプター: VSK0771

入力	~100 V~240 V 50/60 Hz 0.2 A 10 VA(100 V) 13 VA(240 V)
出力	===5 V 800 mA

リチウムイオンバッテリーパック: DMW-BCL7

電圧/容量	3.6 V/690 mAh
-------	---------------

CLUB Panasonicご愛用者登録のご案内

このたびは、パナソニック商品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございました。

さて、弊社ではより良い商品とサービスをお客様にご提供
できるようにパナソニック商品をご購入の方にご愛用者
登録をお願いしています。

ぜひ、この機会にご愛用者登録をお願いいたします。

※ 皆様の貴重なご意見を、製品の開発や改善の参考とさせて
いただきたいと思いますので、アンケートにもご協力いた
だきますようお願い申し上げます。

ご登録特典1	家電情報をまとめて登録/管理 購入年月や製造番号などをMy家電 リストに保存できます。
ご登録特典2	商品情報をスムーズに入手 Q&Aや取扱説明書など、商品に関す る情報が見られます。
ご登録特典3	エンジョイポイントがたまる たまったポイントでプレゼントに応 募できます。

お問い合わせ先: CLUB Panasonic事務局
club-info@panasonic.jp

ご登録手順

下記のいずれかを選んでください。

■ パソコンからの登録方法

次のアドレスにアクセスしてください。

<http://club.panasonic.jp/>

■ 携帯電話からの登録方法

携帯電話から登録する場合は、携帯電話のメールアド
レスが必要です。

● 二次元バーコードを使ってアクセスする場合



● URLを入力してアクセスする場合
<http://mobile.club.panasonic.jp/>

保証とアフターサービス (よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理 などは

■ まず、お買い求め先へご相談ください

▼ お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名				
電話	()	—		
お買い上げ日	年	月	日	

修理を依頼されるときは

「メッセージ表示」「Q & A 故障かな?と思ったら」(本書および取扱説明書 活用ガイド)でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

● 製品名	デジタルカメラ
● 品 番	DMC-SZ10
● 故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

- ※ 補修用性能部品の保有期間 **5年**

当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後5年保有しています。

保証とアフターサービス (よくお読みください)(続き)

- 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線 (IP電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

- 使いかた・お手入れ・修理に関するご相談は

パナソニック 総合お客様サポートサイト

<http://www.panasonic.com/jp/support/>

パナソニック LUMIX (ルミックス) ご相談窓口 365日 受付9時~20時

電話 フリーダイヤル  **0120-878-638**
パナは ルミックスバチ!
※携帯電話・PHSからもご利用になります。

■ 上記番号がご利用
いただけない場合 **06-6907-1187** ■ FAX
フリーダイヤル  **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

- 宅配修理サービスのご案内

(Webサイトからもお申し込みいただけます)

パナソニック 修理サービスサイト

<http://lumix.jp/repair/>

インターネットでのご依頼も可能です。

- お申し込みいただいた修理依頼に基づき当社指定の宅配業者が修理依頼品をお引取りにお伺いし、修理が完了した後に修理品をご自宅までお届けするサービスです。(保証期間内は無料です)

愛情点検

長年ご使用のデジタルカメラの点検を!

こんな症状はありませんか

- ・ 煙が出たり、異常なおいや音がする
- ・ 映像や音声が乱れたり出ないことがある
- ・ 内部に水や異物が入った
- ・ 本体やACアダプターが破損した
- ・ その他の異常や故障がある



ご使用中止

故障や事故防止のため、本体の電源を切り、ACアダプター使用時はコンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

地域窓口へ直接お持ち込みされる場合は、ホームページにて地図を掲出しております。
<http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/repair/area.html>

■ 各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

● 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口へ転送させていただく場合がございます。

北海道地区

札幌 ☎(011)894-1255 札幌市厚別区厚別南
2丁目17-7
旭川 ☎(0166)22-3015 旭川市2条通16丁目1166
帯広 ☎(0155)33-8478 帯広市西20条北2丁目23-3
函館 ☎(0138)48-6630 函館市西桔梗町589-241

東北地区

青森 ☎(0172)62-0880 青森市浪岡大字浪岡字稲村
262-1
秋田 ☎(018)868-7008 秋田市外旭川字小谷地3-1
岩手 ☎(019)645-6130 盛岡市厨川5丁目1-43
宮城 ☎(022)387-1117 仙台市宮城野区扇町7-4-18
山形 ☎(023)641-8100 山形市平清水1丁目1-75
福島 ☎(024)991-9308 郡山市備前館2丁目5

首都圏地区

栃木 ☎(028)689-2555 宇都宮市上戸祭3丁目3-19
群馬 ☎(027)254-2075 前橋市箱田町325-1
茨城 ☎(029)864-8756 つくば市筑穂3丁目15-3
埼玉 ☎(048)728-8960 熊谷市宮町1丁目29番

川口 ☎(048)297-7820 川口市戸塚2丁目23-20
千葉 ☎(043)208-6034 千葉市中央区末広5丁目9-5
東京 ☎(03)5303-6901 東京都杉並区本天沼
3丁目43-16
秋葉原 ☎(03)3251-4616 千代田区外神田1丁目8-1
第三電波ビル
立川 ☎(042)537-5611 立川市幸町4丁目3-1
山梨 ☎(055)222-5822 中央市山之神流通団地1-5-1
神奈川 ☎(045)828-2180 横浜市戸塚区品濃町561-4
新潟 ☎(025)286-0180 新潟市東区東明1丁目8-14

中部地区

石川 ☎(076)280-6608 金沢市玉鉾2丁目266番地
富山 ☎(076)424-2549 富山市根塚町1丁目1-4
福井 ☎(0776)21-0622 福井市問屋町2丁目14
長野 ☎(0263)86-9209 松本市寿北7丁目3-11
静岡 ☎(054)287-9000 静岡市駿河区高松2丁目24-24
愛知 ☎(052)819-0225 名古屋市瑞穂区塩入町8-10
岐阜 ☎(058)278-6720 岐阜市中鶉4丁目42
三重 ☎(059)254-5520 津市久居野村町字山神421

保証とアフターサービス (よくお読みください)(続き)

近畿地区

滋賀 ☎(077)582-5021	栗東市小柿9丁目4-10
京都 ☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
大阪 ☎(06)7730-8888	門真市松生町1-15
奈良 ☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
和歌山 ☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
兵庫 ☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台 3丁目13-4

中国地区

鳥取 ☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
松江 ☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
出雲 ☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
浜田 ☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
岡山 ☎(086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
広島 ☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
山口 ☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1

四国地区

香川 ☎(087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
徳島 ☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
高知 ☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
愛媛 ☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1

九州地区

福岡 ☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
佐賀 ☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸 字上深町3044
長崎 ☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
大分 ☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
宮崎 ☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
熊本 ☎(096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
鹿児島 ☎(099)246-7050	鹿児島市上谷口町3128-3
沖縄地区	
沖縄 ☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。<http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/repair/area.html>

1114

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

<無料修理規定>

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品取扱説明書から切り離れた本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合は、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移送、輸送、落下などによる故障及び損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(ホ) 電池や、消耗または摩耗した部品交換の場合
(ヘ) 一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
(ト) 本書のご添付がない場合
(チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(リ) 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

- ※ お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただきます。
- ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様への権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理について不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
- ※ This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

デジタルカメラ保証書

持込修理

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報を利用目的は本書裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品番	DMC-SZ10		
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間		
※お買い上げ日		年 月 日	
※お住所	ご住所		
お客様	お名前		
※	電話 ())	—
販売店	住所・販売店名		
※	電話 ())	—

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号 TEL (06) 6908-1551

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しく下さい。